

研究構想シート		学校名	美郷町立邑智中学校
		氏名	小笠原恵美子
A 研究主題		自らの思いや考えを仲間とともに深め合い夢に向かって歩む生徒の育成 ～伝え合う力を高め 主体的な学びを支える 学習支援のあり方～	
B 研究の目的		めざす生徒像に掲げた生徒を育てるために効果的な手立てや支援について明らかにする。	
C 子どもの実態 ○強み ▲弱み ◎生徒の実態を語る前提 ○明るく活気があり、楽しいことや新しいことに対する興味がある。 ▲興味が長続きしない。興味を持ったことを深追いしない。 ○素直で、与えられた課題を忠実に取り組もうとしている。 ▲自分で工夫したり意思をもって取り組む姿勢や意欲が十分ではない。 ○人間関係は比較的穏やかで大きなトラブルが少ない。(自分も他人にも優しい) ▲話し合いのスキルが十分身につけていない。 ▲自分で考えようとはしているが、知識や情報をもとに思考することが難しい。 ▲負荷がかかることは敬遠する傾向が強い。 ◎小規模校ゆえの固定化した人間関係や役割分担。	E 手立て・内容(研究仮説)	D めざす子どもの姿	
	F 検証方法	<p>【自らの思いや考えを】 …自ら課題を見つけることができる生徒</p> <p>【仲間とともに伝え合い】 …自分の意見や思いを伝えあうことができる生徒</p> <p>【夢に向かって歩む】 …学んだ成果を生かして考え、課題解決に取り組もうとする生徒 …改善意識を持ち、自らを高めようとする生徒</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>自分事として向きあおうとする生徒</p>	
	G 研究計画		
		<p>A・生徒が(周囲の状況や情報に関心を寄せ)振り返りや気づきを生み出すような、問いかけや投げかけの工夫。</p> <p>B・伝えたいことを伝えるスキルの向上と、伝えたくなる場の設定。</p> <p>C・自分の思いや考えを安心して伝えられるとともに、それを受け止め共有していこうとする雰囲気のある集団づくり。</p> <p>D・生徒の学びや変容、必要な情報などを可視化して示すなどの、生徒の思考を支える取組。</p>	
		<p>・手立てを工夫した授業や諸活動の実践を重ね、各手立ての有効性について成果と課題を見取る。(生徒の発言、態度、ノートやワークシート、振り返りなどから)</p> <p>【随時】</p> <p>・生徒の変容を見取るアンケートを実施する。(ICTの活用と可視化によるフィードバック) 【7月、1月】</p> <p>・教職員の観察【随時】</p> <p>・県学力調査(12月)の生徒解答(回答)から関連するものを抽出して変容を見取る。【3学期】</p>	
		<p>① 研究主題、めざす生徒像の共有【5月】</p> <p>② A～Dの手立てに取り組む教職員グループごとの実践【6月～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で取り組む手立ての設定 ・個人の手立ての設定 ・グループ内での情報や実践の共有 ・1人1授業公開による研修 <p>③ ②で取り組んだことの共有【各学期1回】</p> <p>④ 職員研修(特別活動)【夏季休業中】</p> <p>⑤ 訪問指導(数学科、特別活動で検討中)【2学期～】</p> <p>⑥ 研究の成果と課題についての協議【3学期】</p>	